

人権だより

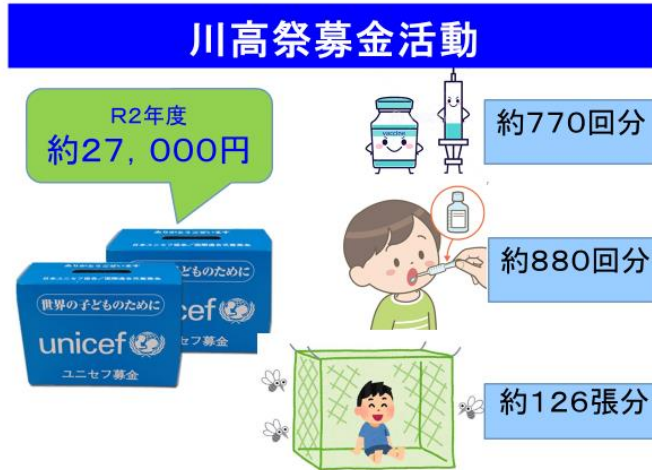
(令和3年度10月号)

川之石高校人権委員会 担当 2年次2組

先日までは夏服の人も多かったですが、急に気温が下がり、あわてて合服どころか制服のブレザーの準備をしている人も多いのではないのでしょうか。

さて、川高祭(11/3)が近づき、私たちはそれぞれの立場で準備をしているところです。人権委員会では「ユニセフ募金」を企画しています。

1 ユニセフ募金について



左は、9月の朝礼で人権委員会の発表をしたときのプレゼン画面の一部です。昨年度は約27,000円の募金があり、その金額でどんなものが買えるかの例を示しました。上から予防接種ワクチンの数、栄養治療食の数、マラリア予防の蚊帳の数です。

私たち一人ひとりの力は小さいかもしれませんが、「川高力」になると大きな力になります。川高祭当日、募金箱を持っている人権委員にお声掛けください。募金への御協力よろしくお祈いします。

右は募金をしていただいた方にお渡しする「ユニセフのちらし」です。このちらしの端に、「ペチュニアの種」が付いています。4~5月頃に植えると6~7月頃にかわいらしい花が咲くそうです。ぜひ、植えて開花をお楽しみください。



ピンク、青、黄、白等いろいろな色があります。何色が咲くかは、お楽しみに！

ユニセフへの
ご支援
ありがとうございます。

すべての子どもに
生きるチャンスをも

5歳未満児の死亡数は1990年の年間1,260万人から2017年は540万人に減少しました。しかし、現在も1年間に540万人もの幼い子どもたちが、肺炎、下痢、はしかなど簡単に予防できる病気などのためにその命を失っています。ユニセフは、最も貧しく、支援を必要としている人々を重点的に支援することで、さらに多くの命を守ることを目指しています。

ユニセフは子どもの命と権利を守る国連機関です

unicef

種は
ここ！

※種は紙袋です。口に入れしないでください。

2 『人権だより』を読んで

PTA生活・人権委員の方から、人権だよりをお読みいただいた御感想や御意見をいただいたので、御紹介します。

来月には、人権啓発講演会や第2回人権・同和教育ホームルーム活動が実施されます。これらの学習を通して学び考えたことを、家庭でも話題にし、高校生の私たちから、正しい知識や行動を広げていきたいと思えます。

たくさんの貴重な御意見をありがとうございました。



人権について学ぶ事は大切なことです。生活する上でたくさんの偏見・不公平があります。様々な事実や実態を知ること、差別に気付き、おかしい事をおかしいと感じる力が『人権だより』で育つのではないかと思います。

インターネットによる人権侵害は、ネットを使用する限り誰にでも起こる可能性があります。子どもたちが正しい知識を身に付けて、正しく使用できるようになってほしいと思います。

人権だよりを発行することは良いことだと思います。テーマを見ると、生徒が社会に出で出会う可能性のある事なので、しっかりと考えていくべきだと思います。「家庭で人権問題について話し合うことがあるか？」というアンケートの結果、「いいえ」が81.5%でした。まずは、家庭で会話の時間を設けることで、人権につながる話題も話し合うことができると思います。

特に自分にとって関係があると思う人権問題は、「高齢者問題」です。母は、腰が曲がり歩くのも痛みで辛そうで、思うように動けない事で皆に迷惑をかけているのでは、とよく口にします。自分もいずれ通る道なのに、つきつい口調で接してしまうこともあるので、改めて高齢者の人権について考えていきたいです。

人権委員会から発信したい項目がとても分かりやすく、とても深い問題で考えさせられる項目でした。親の私たちでも、子どもに説明する事は難しく、理解できていない項目もあるため、学校で学習に取り組んでいただき、本当にありがたいです。何に対しても自分ごととして考え、行動できる大人になってほしいと思います。

人権・同和教育ホームルーム活動は、とても難しいテーマですが、年次ごとに学んで考えていると思います。子どもが人権委員をしており、3年次の就職面接の事例について答え方、書類の事などを教えてくれました。人権だよりを読み、学校での取組に感心しました。

保護者として、携帯電話のことについて共感しました。高校に入学した必要（みんな所持する）と、購入したものの、使用ルールはあっていないようなもので、家族の交流は減ったと思います。分かっている事、知っている事でも改めて学ぶ事で新しい気付きになることが多くあると思います。親が言うとうるさがる年齢です。学校で定期的に人権について学ぶ機会を設けることは、とても良い事だと思います。